

石川町第5次総合計画 石川地区まちづくり委員会報告書



平成20年 2月
石川地区まちづくり委員会

石川町第5次総合計画 石川地区まちづくり委員会報告書

石川地区まちづくり委員会は、平成19年9月29日に第1回委員会を開催し、石川町第5次総合計画石川地区まちづくり計画を作成するため、5回の委員会を開催してまいりました。

石川地区は、北町地域から猫啼地域には、商店街、公共施設、教育施設、住宅が連なり町の中心市街地を構成し、王子平、外楨、新田の西部地域は農産物の生産及び商業施設や住宅団地を構成しており、石川地区全体が町民生活の中心的社会性を持った地区です。

地形的には、市街地域は、今出川・北須川を挟んで源平山、石尊山、秋葉山、八幡山、愛宕山などの山並みが連なり、川沿いの桜、山のつつじ、あじさい、紅葉などを有機的に結びつけたまちづくりに最適のものであり、また、神社仏閣や歴史民俗資料館、自由民権運動に関する旧跡が多く、文化・歴史・先人に学ぶことができる地域でもあります。

西部地域は平坦で、町の穀倉地帯として古くから良質の農産物を生産しており、付加価値が高く安全・安心な農産物の生産に地域を上げて取り組んでいます。

また、国道118号沿いは、住宅団地やショッピングセンターが建設され、住宅・商業地域として発展しています。

石川地区は、少子高齢化、商店街の活性化、農産物の価格保障、河川の環境改善、公園や駐車場の整備など課題も多く、各行政区が連携して住みよいまちづくりの取組を進めることが重要です。

石川地区まちづくり委員会では、このような現状を踏まえ、各委員が居住行政区の役員の方々とも協議し、委員が真剣な論議をおこない「石川地区まちづくり計画」を作成しましたので、ご報告いたします。

なお、「石川地区まちづくり委員会の要望」について併せてご報告いたしますので、石川町第5次総合計画に是非、組み入れていただきますよう、お願いいたします。

石川町長 加納武夫 様

平成20年 2月 4日

石川地区まちづくり委員会委員長 安倍治男

= 目 次 =

1. 石川地区まちづくり計画	P 2
I. 石川地区まちづくり委員会の取り組み	
II. 石川地区まちづくり委員会の要望	
2. 石川地区まちづくり委員会構成	P 8
3. 石川地区まちづくり委員会活動経過	P 9
4. 石川地区まちづくり委員会協議内容	P 12
5. 参考資料	P 19

1. 石川地区まちづくり計画

○ 地区の概要・特性

石川地区は、町の中心市街地と西部地域で構成され、今出・北須川沿いの桜、山のつつじ・あじさい・紅葉など自然環境に富み、神社仏閣・文化教育施設・自由民権運動に関する名所旧跡が多く、文化・歴史・先人に学ぶことができる地域です。

西部地域は穀倉地帯として安全・安心な農産物の生産に取り組んでおり、全体が町民生活全般の中心的な役割を持った地域です。

○ 地区の現状と課題

現状

- ・ 少子高齢化の進行（後継者不足）
- ・ 消費行動の郊外化
- ・ 中心市街地の沈滞化が進みつつある

課題

- ・ 少子高齢化への対応
- ・ 中心市街地商店街の活性化
- ・ 先人が育んできた自然環境、文化遺産の活性化や公園・駐車場の整備
- ・ 河川的环境改善
- ・ 農産物の高付加価値化や価格保障

○ 事業計画（詳細は、別紙のとおり）

〔計画 1〕 群れ桜の里石川

〔目的〕

町内の川沿いの群れ桜を誇り、町内を桜で埋め、桜谷をつくり次代に伝える。

〔取組内容〕

- ・ 現在の桜の木を更新する活動をおこなう。
- ・ インターネット・携帯電話や広告で桜のネーミングを募集する（賞金も検討）
- ・ 桜マップを作成する（良いものをつくる。）。広告を載せて資金にする。
- ・ 石尊山は、桜とつつじのみ植栽し、活性化する。
- ・ 公衆トイレ、駐車場、ベンチの清掃や簡易な修繕活動をおこなう。
- ・ 資金は宝くじの補助等、各種の補助金等を充てられるようにする。

〔計画 2〕 あじさいの里石川

〔目的〕

町内の川沿いの群れ桜と共にあじさい及びつつじを育てる。

〔取組内容〕

- ・ 苗木を購入または育成し、植栽する。
- ・ 計画1と併せたマップを作る。
- ・ 取組は計画1と併せておこなう。

〔計画 3〕 紅葉（もみじ）の里石川

〔目 的〕

町内の山の名所を紅葉（もみじ）の名所にする。

〔取組内容〕

- ・ 苗木を購入または育成し、植栽する。
- ・ 愛宕山・石都々古和気神社（八幡山）・秋葉山・源平山を紅葉でいっぱいにする。
- ・ 計画1と併せたマップを作る。
- ・ 取組は計画1と併せておこなう。

〔計画 4〕 ホタルの里石川

〔目 的〕

今出川・北須川をはじめ、全町にホタルと共に生きるまちをつくる。

〔取組内容〕

- ・ ホタルの生息できる環境づくりをおこなう。
- ・ 町内の水環境を改善する取組を全地域でおこなう。
- ・ ホタルの里マップ（計画1と併せたもの）をつくる。

〔計画 5〕 名所・旧跡・歴史の里石川

〔目 的〕

町内（地域内）の名所・旧跡の歴史を大切にする。

〔取組内容〕

- ・ 名所旧跡マップ（計画1と併せたもの）をつくる。
- ・ 自由民権運動の史跡を調べ保存する。
- ・ 鉱物資料見学用ビデオをつくる（歴史民俗資料館）。
- ・ 鉱物の学習や採取をおこなう場をつくる。

〔計画 6〕 安心して住める結いの里石川

〔目 的〕

地域が安心して信頼しあえるまちをつくる。

〔取組内容〕

- ・ 町内をあいさつ通りにする。
- ・ 高齢者や市域住民が気軽に集う場所をつくる（行政区の支援）。
- ・ 高齢者や障害者が住みよい街をつくる（行政区の支援）。
- ・ 消防団活動への理解と参加を啓蒙する。
- ・ 農産物生産者やJ Aと連携をもち、食の安全、安心への取組を進める。
- ・ 学校給食への地場産品の使用拡大を進める（学校現場と連携）。

石川地区まちづくり委員会 まちづくり計画

I. 石川地区まちづくり委員会の取り組み

取り組み	学ぶ	称える・伝える	動く（行動）	委員会（地域）の取り組み
1. 群れ桜の里石川 町内の川沿いの群れ桜を誇り 町内を桜で埋め、桜谷をつくり 次代に伝える。	○ 先人に学ぶ ○ 専門家に学ぶ ○ 古老に学ぶ	○ 群れ桜の歴史 ○ 一本桜を称える ○ 古木を称える ○ 情報を交換する ○ 高田桜を保存する ○ 石尊山の桜とつつじを称える	○ 地域を決めて保存活動をする ○ 苗木を育てる ○ 植栽をする ○ 病害（テングス病など）の除去 ○ 花見の季節には各種イベントに参加する。 ○ 観桜者（町外含む）にお茶を差し上げる。 ○ ベンチをおく ○ 公衆トイレ建設を進める ○ 桜マップをつくる ○ 国道118号沿いの沿線にも桜を植える	○ 高田桜の子孫を残す活動をおこなう。 ○ 現在の桜木を更新する活動をおこなう。 ・ 苗木の購入（ある程度大きなもの。）。 ・ 植栽はボランティア・行政区・中高生がおこなう。 ・ 管理は、委員会と行政区が共同でおこなう。 ・ 病害対策は町と地域が協力しておこなう。行政区長会でも検討する。 ○ インターネット・携帯電話や広告で桜のネーミングを募集する（賞金も検討する。）。 ○ 桜マップを作成する（一本桜・トイレ・休憩場所・あじさい・紅葉・ホテル・名所旧跡や商店街・文化施設など多様なものを載せたもので、良いものをつくる。）。 ○ 桜と紅葉（もみじ）は同一場所に植栽しない。 ○ 石尊山は、桜とつつじのみ植栽し、活性化する。 ○ 公衆トイレ・駐車場・ベンチの清掃や簡易な修繕等をおこなう。 ○ 資金は、宝くじの補助等、各種の補助金等を充てられるようにする（1. 2. 3. とも共通）。
2. あじさいの里石川 町内の川沿いの群れ桜と共に あじさい及びつつじを育てる。	○ 先進地に学ぶ ○ 先人に学ぶ ○ 専門家に学ぶ ○ 古老に学ぶ	○ あじさいの里づくり ○ 情報を交換する ○ つつじの山づくり（石尊山）	○ 苗木を育てる ○ 植栽をする ○ 手入れをする ○ マップをつくる ○ 川沿い・里山への重点植栽をする（あさひ公園、親水公園、八幡神社、古町川沿い、石尊山など）	○ 苗木を購入または育成し、植栽する。 ○ マップを作成する（1と併せたもの。）。 ○ 取組は、1と同様におこなう。
3. 紅葉（もみじ）の里石川 町内の山の名所を紅葉（もみじ）の名所にする。	○ 先進地に学ぶ ○ 先人に学ぶ ○ 専門家に学ぶ ○ 古老に学ぶ	○ 和泉式部の生誕地（猫啼） ○ 愛宕山公園の整備 ○ 石都々古和気神社 ○ 石尊山 ○ 秋葉山（秋葉神社） ○ 源平山 ○ 町民グラウンド公園	○ 現名所の保存をする ○ 紅葉（もみじ）の植栽をする ○ 苗木を育てる ○ 林道の整備 ○ 景観保持のため立木の伐採・手入れをする ○ 遊歩道の設置・整備（本宮を含む） ○ もみじマップをつくる ○ 愛宕山公園保存会活動を推進する	○ 苗木を購入または育成し、植栽する。 ○ 愛宕山・石都々古和気神社（八幡山）・秋葉山・源平山を紅葉でいっぱいにする。 ○ マップを作成する（1と併せたもの。）。 ○ 取組は、1と同様におこなう。

取り組み	学ぶ	称える・伝える	動く（行動）	委員会（地域）の取り組み
4. ホタルの里石川 今出川・北須川をはじめ、全町にホタルと共に生きるまちをつくる。	○ 先進地に学ぶ ○ 先人に学ぶ ○ 専門家に学ぶ ○ 古老に学ぶ ○ 町内の生息地に学ぶ ○ 生息環境を学ぶ	○ 生息地の確保をする ○ 川をホタルの生息地にする環境を育てる ○ ホタルの生息条件をつくる ○ 情報を交換する ○ ホタルを育てる ○ 人と共に生きる環境づくりをする	○ 川をきれいにする ○ 家庭排水の浄化 ○ 浄化槽の強化 ○ 川の環境点検 ○ ホタルの里マップをつくる	○ ホタルの生息できる環境づくりをおこなう。 ・ ホタルの餌となる虫（カワニナ）などが生息できる環境づくりをおこなう。 ・ 側溝の清掃を各地区でおこなう。 ・ ホタルの生息地への立入を禁止または制限する。 ・ ホタル生息地（北町稲荷橋付近、石川山トンネル手前の田、秋台の田、当町松木下陸橋付近の沢、王子平地区、塩の沢温泉付近。）に学ぶ。 ○ 町内の水環境を改善する取組を全地区でおこなう。 ・ 家庭雑排水の浄化を各家庭がおこなう。 ・ 生ごみの減量化の取り組み。 ○ 町（行政）として合併浄化槽設置を促進する。 ○ 行政区として水環境の改善啓蒙に取り組む。 ○ ホタルの里マップを作る（1と併せたもの。）。
5. 名所・旧跡・歴史の里石川 町内（地域内）の名所・旧跡の歴史を大切にする。	○ 先人に学ぶ ○ 専門家に学ぶ ○ 古老に学ぶ ○ 名所・旧跡を学ぶ ○ 子どもと学ぶ	○ 名所・旧跡を知る ○ 名所・旧跡から教えてもらう ○ 情報を交換する ○ 知られていない所を発掘する ○ 鉱物・鉱石の紹介 ○ 新しい名所をつくる ○ 町の誇り（鉱物・自由民権運動など）を学ぶ ○ 文化財の保護の手伝いをする	○ 名所・旧跡を洗い出す ○ 名所・旧跡の保存活動に参加する ○ 文化財の保護・保存に参加する ○ 各種の学会と共に動く ○ 和久観音山鉱山跡地の保存・活用に参加する ○ 鉱物を活用した学習活動を進める ○ 名所・旧跡・史跡マップをつくる	○ 名所・旧跡マップを作る（1と併せたもの。）。 ○ 名所・旧跡を訪ねる会を企画する ○ 自由民権運動の史跡を調べ保存する。 ○ 鉱物資料見学用ビデオをつくる（歴史民俗資料館）。 ○ 鉱物の学習や採取をおこなう場をつくる。 ・ 和久観音山鉱山保存会と協力して取り組む。 ・ 町内の先人や研究者に学び、協力して取り組む。
6. 安心して住める結いの里石川 地域が安心して信頼しあえるまちをつくる。	○ 先進地に学ぶ ○ 古老に学ぶ	○ こころよくあいさつを交わす町 ○ 声をかけあう町 ○ ふれあいを大切にする町 ○ 信頼しあう町 ○ 助け合いの町 ○ 大人が手本になる町 ○ 食の安全に取り組む町 ○ 付加価値の高い農産物を生産する町 ○ 営農改善、農作業の受委託を推進する町	○ あいさつ通りをつくる ○ ふれあいネットワーク（地域での声かけ・助け合い）を生かす町 ○ 隣組を大切にする町 ○ 気兼ねなく結いを大切にする町 ○ 防犯意識の向上をする町 ○ 自治会活動へ参加する町 ○ 災害・緊急時の避難場所および表示等の設置、マニュアルや避難マップを作成している町 ○ 消防団活動を助けあう町 ○ 高齢者の話し合いの場・集いの場をつくる町 ○ ユニバーサルデザインを大事にする町 ○ 安全な食物の生産（地産地消）をする町	○ 町内をあいさつ通りにする。 ・ 互いにあいさつを交わす。 ・ 大人が手本を示す。 ・ 行政区で啓蒙する。 ○ 行政区の支援を受け高齢者や地域住民が気軽に集う場をつくる。 ○ 地域と町（行政）が協力し、障害者や高齢者が住みよい街をつくる取組を進める。 ○ 高齢者や一人暮らしの住民の安全を図るため、声かけ活動をする。 ○ 消防団活動への理解と参加を啓蒙する。 ○ 直売所（道の駅）の建設促進と運営への参加。 ○ J A安心館、認定農業者や農産物生産者との連携をもち、食の安全・安心への関心向上と取組を進める。 ○ 農業収入の確保のため、付加価値の高い農産物の生産への営農改善を進める。 ○ 学校給食への地場産品の使用拡大を進める（学校現場と話し合う。）。

Ⅱ. 石川地区まちづくり委員会の要望

要望事項	関係行政区	要望の理由	地域での取組
1. 町有、遊休地の早期利用	北 町	未利用になっており、非常にもったいないので、早急に利用計画を作成してほしい。	
2. 防火水槽・消火栓の設置		古舘・境ノ内住宅の水利が少ないため。	○ 設置場所確保への協力。 ○ 消火栓の使用訓練実施。
3. 源平山の公園化（遊歩道、避難場所）	新 町	災害時の避難場所の確保と源平山を公園化する開発をしたい。	○ 公園化整備後の維持管理への協力（遊歩道の維持管理・公園の清掃。）。
4. 今出川沿いの通学路の拡張整備		通学路が狭く子供の送り迎えなどで交通量が多いため通行が危険。	○ 整備後の維持管理への協力。 ○ 交通安全の啓蒙。
5. 親水公園の設置		県土木事務所からあさひ公園の間に、親水公園と駐車場を確保したい。特に桜の季節に必要である。	○ 公園設置後の維持管理への協力（公園や駐車場の維持管理・清掃。）。
6. 集会所の建設	新 町 新屋敷	集会所をつくるための補助を願いたい。	○ 建設場所確保への協力。 ○ 建設後の維持管理。
7. 歩道の整備	三 芦	築石橋～三芦橋までの間の川側に歩道がないため、桜の木を切らない方法で整備してほしい。	○ 歩道整備後の維持管理への協力。
8. 集会所の修繕		自治会館が古くなった（床が抜けた。）ので新築の補助を願いたい。	○ 建設後の維持管理。
9. 石尊山林道の整備	南 町 荒 町	石川小体育館～石尊山～秋葉山～町道 208号線（北山形線）の林道の整備	○ 林道整備後の維持管理への協力。
10. 石尊山遊歩道の整備	南 町	旧石川小学校グラウンドから石尊山への遊歩道の整備及び旧武道館は入口の整備	○ 遊歩道整備後の維持管理への協力。
11. 今出川橋梁・道路の整備	馬場町・古町・当町・松木下・猫啼	J R 石川駅前活性化及び立ヶ岡地内遊休地の活用を図るため、橋梁の架設と道路の整備を5行政区共通の事業としたい。	○ 整備後の維持管理への協力。
12. 今出川沿い遊歩道の延長		立ヶ岡地内に遊歩道が整備されたので、猫啼まで延長してほしい。関係行政区で連携して要望	○ 整備後の維持管理への協力。
13. 側溝清掃時の消防ポンプ貸与	松木下	側溝の勾配が極めて小さいく土砂がたまるので、区の清掃時に土砂排除のため消防ポンプを貸与してほしい。	○ 側溝清掃の実施。

要望事項	関係行政区	要望の理由	地域での取組
14. 国道 118 号線沿い歩道の整備	猫 啼	交通量が多いため事故が多いが、歩道の整備が遅れているので、広い歩道の整備を早急にしてほしい（人が交差できない。）	○ 整備後の維持管理への協力。
15. 町道の整備（拡幅・舗装）		町道 1085 号線の整備が遅れている（未舗装）ので、早急に拡幅・舗装をしてほしい。	○ 整備後の維持管理への協力。
16. 親水公園・遊歩道の設置		河川改修に伴い旧河川部分が池となっていて残っているので、県や町に整備を要望しているが進んでいない。川沿いに遊歩道も設置してほしい。	○ 整備後の維持管理への協力。
17. 上水道の設置	新屋敷 和 久	上水道の給水がないため。	
18. 町道の整備	新 田	町道 220 号線の交通量が多いため、改良整備（側溝蓋 72m）をしてほしい。 町道 112 号線の整備をしてほしい。	○ 整備後の維持管理への協力。
19. 遊休町有地の有効活用		安心館後ろの町有地を子供の遊び場として区に貸与してほしい。	○ 貸与後の維持管理。
20. 側溝グレーチング蓋の改善	古 町	役場前通り(町道 101 号線)側溝のグレーチングが規格外(小さい)ため、規格に合ったグレーチングを入れてほしい。	○ 側溝清掃の継続。
21. 今出川、神前橋下流の河川体積土砂の撤去	馬場町 古 町	今出川、神前橋下流、特に神前橋から宮橋下流間の河川体積土砂（中洲）等の撤去をしてほしい。	
22. 町道 1192 号線の早期開通	王子平	町道 1192 号線（国道 118 号、石川生コン前信号～梁瀬地区）の交通の利便性向上のため早期開通をしてほしい。	○ 開通後の維持管理への協力。
23. 通学路（町道 4033 号線）の整備	南 町	通学路（金沢商店からの町道 4033 号線）の舗装が痛んでいるので整備をしてほしい。	○ 整備後の維持管理への協力。

2. 石川地区まちづくり委員会構成

行政区	委員名	役職名	備考
顧問	近 内 正 隆	石川町区長会長	
	南 條 武 光	石川地区区長会長	
北 町	中 村 幸 吉	副 委 員 長	
	小 川 範 明		
新 町	有 賀 四 郎		
	松 山 秀 隆		
三 芦	西 牧 玉 喜		
	吉 田 政 司		
南 町	近 内 行 雄		
	斉 藤 幸 夫		
荒 町	三 瓶 善 孝		
	鈴 木 康 仁		
馬場町	安 藤 敬 男		
	溝 井 恵 介		
古 町	安 倍 治 男	委 員 長	
	吉 田 憲 一		
当 町	有 我 シ ゲ 子		
	吉 見 み ち 子		
松木下	今 井 忠		
	斉 藤 昴		
猫 啼	諸 岡 卓 也		
	川 音 雅 浩		
王子平	水 野 文 雄		
	遠 藤 多 一 郎		
和 久	矢 内 進		
	吉 田 義 久		
新屋敷	小 豆 畑 元		
	小 松 徳 夫		
新 田	熊 懷 武 彦	副 委 員 長	
	吉 田 茂		
町職員	芳 賀 正 人	事 務 局 長	税 務 課
	三 森 孝 則	庶 務	中 央 公 民 館
	秋 山 晴 彦	庶 務	保 健 福 祉 課
	小 川 貴 久	庶 務	都 市 建 設 課

3. 石川地区まちづくり委員会活動経過

(1) 石川地区まちづくり委員会結成に向けた打合せ会議

日 時 平成 19 年 8 月 9 日 (木) 午後 7 時～午後 8 時 30 分
場 所 町中央公民館
出 席 石川地区行政区長・事務局員
協議事項

- ① 石川地区まちづくり委員会の取り組み方について
- ② 石川地区まちづくり委員会の構成について
- ③ 石川地区まちづくり委員会委員の推薦について
- ④ 石川地区まちづくり委員会第 1 回委員会の開催について
- ⑤ その他

各行政区における地域づくり活動の状況を第 1 回委員会までに調査し提出することとした。

(2) 石川地区まちづくり委員会第 1 回委員会

日 時 平成 19 年 9 月 29 日 (土) 午後 6 時 30 分～午後 7 時 50 分
場 所 町中央公民館
出 席 委員・石川地区区長会長・事務局員
協議事項

- ① 石川地区まちづくり委員会委員長等の選任について
事務局で選考し、第 2 回委員会で選任することとした。
- ② 石川地区まちづくり計画について
 - 各行政区における地域づくり活動の状況を報告。
 - 各行政区の問題点・課題・資源・特色や改善すべきことなどを調査し第 2 回委員会で報告することとした。

(3) 石川地区まちづくり委員会事務局会議

日 時 平成 19 年 10 月 23 日 (火) 午後 2 時～午後 3 時
場 所 町役場会議室
出 席 事務局員
協議事項 第 2 回委員会の運営について

(4) 石川地区まちづくり委員会第 2 回委員会

日 時 平成 19 年 10 月 27 日 (土) 午後 6 時 30 分～午後 7 時 40 分
場 所 町中央公民館
出 席 委員・事務局員
協議事項

- ① 石川地区まちづくり委員会委員長等の選任について
- ② 石川地区まちづくり委員会顧問の設置について
- ③ 石川地区まちづくり計画について
 - 各行政区での取り組み状況・課題・要望などを報告。
 - 事務局で集約整理したものを各委員に送付し、委員が検討のうえ第 3 回委員会で協議することとした。

(5) 石川地区まちづくり委員会事務局会議

日 時 平成 19 年 11 月 15 日 (木) 午後 4 時～午後 5 時
場 所 町役場会議室
出 席 事務局員
協議事項 第 3 回委員会の運営について

(6) 石川地区まちづくり委員会第 3 回委員会

日 時 平成 19 年 11 月 21 日 (水) 午後 6 時 30 分～午後 8 時
場 所 町中央公民館
出 席 委員・顧問・事務局員
協議事項

- ① 石川地区まちづくり委員会顧問の選任
- ② 石川地区まちづくり計画について
 - 各行政区での取り組み状況などの検討結果を報告。
 - 各委員の意見等を集約整理したものを各委員に送付し、委員が検討のうえ第 4 回委員会でさらに協議することとした。
- ③ まちづくり委員会交付金受領の報告。

(7) 石川地区まちづくり委員会委員長・副委員長・事務局長会議

日 時 平成 19 年 11 月 30 日 (金) 午後 2 時～午後 3 時
場 所 町役場会議室
出 席 委員長・副委員長・事務局長
協議事項 まちづくり計画素案について

(8) 石川地区まちづくり委員会委員長・副委員長・事務局長会議

日 時 平成 19 年 12 月 13 日 (木) 午前 10 時～午前 11 時
場 所 町役場会議室
出 席 委員長・副委員長・事務局長
協議事項 第 4 回委員会の運営について

(9) 石川地区まちづくり委員会事務局会議

日 時 平成 19 年 12 月 18 日 (火) 午後 3 時～午後 3 時 45 分
場 所 町役場会議室
出 席 事務局員
協議事項 第 4 回委員会の運営について

(10) 石川地区まちづくり委員会第 4 回委員会

日 時 平成 19 年 12 月 20 日 (木) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
場 所 町中央公民館
出 席 委員・事務局員
協議事項

- ① 石川地区まちづくり計画について
 - 石川地区まちづくり計画案の協議
テーマ毎に分科会 (3 班) で計画を検討。

○ 石川地区まちづくり委員会要望案の検討について

各行政区からの要望について、要望を実現するための地域での具体策及び行動などを行政区役員と各委員で検討し、次回の委員会で報告することとした。

② 今後の日定について

(11) 石川地区(地域)まちづくり計画関係職員打合せ会議

日 時 平成 20 年 1 月 10 日 (木) 午後 6 時～午後 7 時

場 所 役場本庁舎 第一会議室

出 席 事務局長・事務局員・地域担当町職員

協議事項

① 石川地区まちづくり計画作成の進捗状況について

② 石川地区まちづくり計画についての意見交換

(12) 石川地区まちづくり委員会事務局会議

日 時 平成 20 年 1 月 22 日 (火) 午前 11 時～午前 12 時

場 所 町役場会議室

出 席 事務局員

協議事項 第 5 回委員会の運営について

(13) 石川地区まちづくり委員会第 5 回委員会

日 時 平成 20 年 1 月 24 日 (木) 午後 6 時 30 分～午後 7 時 40 分

場 所 町中央公民館

出 席 委員・顧問・事務局員

協議事項

① 石川地区まちづくり計画の決定について

地区まちづくり計画を決定した。

② 石川地区まちづくり委員会要望の決定について

追加要望 4 件を含めて決定した。

③ 石川地区まちづくり計画の提出について

④ 石川地区まちづくり委員会報告書の提出について

③④を一括して決定した。

(14) 石川地区まちづくり委員会委員長・副委員長・事務局員会議

日 時 平成 20 年 1 月 31 日 (木) 午後 1 時～午後 2 時

場 所 町役場第二会議室

協議事項

① 石川地区まちづくり計画の提出について

② 石川地区まちづくり委員会報告書の提出について

(15) 石川地区まちづくり計画及び石川地区まちづくり委員会報告書の提出

日 時 平成 20 年 2 月 4 日 (月) 午後 1 時 30 分

場 所 町役場 町長室

出 席 委員長・副委員長・事務局長

4. 石川地区まちづくり委員会 会議内容等

I. 第5次総合計画「石川地区まちづくり委員会」結成に向けた打合せ会議

日 時： 平成19年8月9日（木）午後7時～8時30分

場 所： 石川町中央公民館 2F ホール

出 席： 石川地区行政区長・町職員 芳賀、三森、秋山、小川

1. 開 会

2. 石川地区区長会長あいさつ

3. 職員紹介

4. 協議事項（進行：三森）

（1）石川地区まちづくり委員会の取り組み方について

① 第5次総合計画について

② 地区まちづくり計画について

（2）石川地区まちづくり委員会の構成について

① 委員会の構成

② 委員数

各行政区 2名の推薦（14行政区）

職 員 4名

計 28名

（3）石川地区まちづくり（地域づくり）委員の推薦について

8月31日（金）までに推薦をお願いしたい。

（4）石川地区まちづくり第1回委員会の開催について

日 時： 9月29日（土）午後6時30分～

場 所： 石川町中央公民館（予定）

（5）その他

① 今後の委員会と行政区との関わりについて

② 現在の各地区（行政区）における地域づくり活動の状況について

5. 閉 会

Ⅱ. 石川町第5次総合計画「石川地区まちづくり委員会」第1回委員会

日 時： 平成19年9月29日（土）午後6時30分～午後7時50分

場 所： 中央公民館 2階 ホール

出 席： 委員25名・事務局 芳賀、三森、秋山、小川

1. 開 会（進行：三森）

2. 石川地区行政区長会長あいさつ

3. 委員・職員紹介

4. 石川町第5次総合計画・石川地区まちづくり計画について

5. 協議事項

（1）石川地区まちづくり委員会委員長等の選任について

役員の選任については、第2回委員会で事務局が適任者を推薦することとなった。

（2）石川地区まちづくり計画について

① 石川地区まちづくり計画の基本的な考え方について

② 各行政区による地域づくり事業等の実施状況について～ 別紙

（3）その他

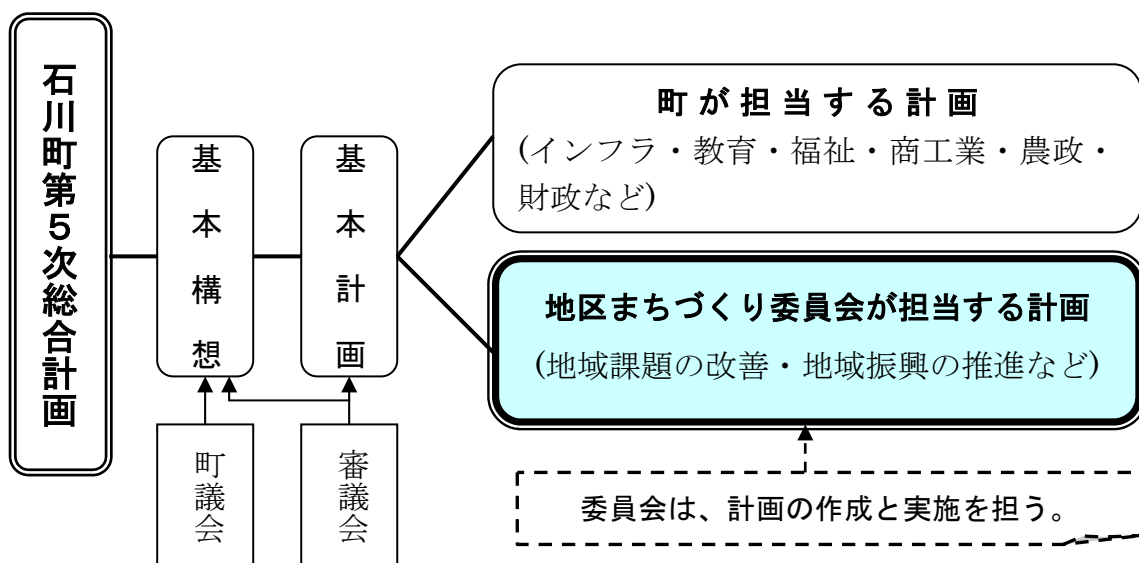
6. 連絡事項

① 次回会議 10月27日（土）午後6時30分～ 会場は、中央公民館

※ 各行政区（地域）の問題点・課題・資源・特色や改善すべきことなどを把握してきてください。

7. 閉 会（進行：三森）

《石川地区まちづくり計画のイメージ》



○ 石川地区まちづくり計画策定スケジュール

9 月	10 月	11 月	12 月～1 月	2 月以降
第1回委員会	現状把握 (問題点・課題・資源・特色等を把握)	課題の検討 (現状の分析と改善策等を検討)	計画の検討 (課題等に基づく計画の作成)	総合計画スケジュールによる

Ⅲ. 石川町第5次総合計画「石川地区まちづくり委員会」第2回委員会

日 時： 平成19年10月27日（土）午後6時30分～午後7時40分

場 所： 中央公民館 2階 ホール

出 席： 委員16名・事務局 芳賀、三森、秋山

1. 開 会（進行：三森）

2. 石川地区行政区長会長あいさつ

3. 協議事項

（1）石川地区まちづくり委員会委員長等の選任について

第1回委員会での協議を受け、事務局長が以下のとおり推薦し承認を得た。

役職名		氏 名	備 考
委 員 長	1名	安倍治男	古 町 区
副 委 員 長	2名	中村幸吉	北 町 区
		熊懷武彦	新 田 区
事 務 局 長	1名	芳賀正人	町職員（税務課）
委 員	25名	別紙、一覧表	
庶 務	3名	三森孝則	町職員（中央公民館）
		秋山晴彦	町職員（保健福祉課）
		小川貴久	町職員（都市建設課）

（2）石川地区まちづくり委員会顧問の設置について

顧問： 近内正隆 石川町区長会長（南町区長）

南條武光 石川地区区長会長（猫啼区長）

（3）石川地区まちづくり計画について

① 各行政区の課題や資源・特色・改善すべき事項等について

② 石川地区まちづくり計画の進め方について

事務局長より試案が示され、次回委員会で検討することとなった。

（4）その他

4. 連絡事項

① 次回会議 11月21日（水）午後6時30分～ （会場は、後日通知）

5. 閉 会（進行：三森）

IV. 石川町第5次総合計画「石川地区まちづくり委員会」第3回委員会

日 時： 平成19年11月21日（水）午後6時35分～午後8時00分

場 所： 中央公民館 2階 ホール

出 席： 委員26名・顧問2名・事務局 芳賀、秋山、小川

1. 開 会（熊懷副委員長）

2. 石川地区まちづくり委員長あいさつ～ 安倍委員長

3. 石川地区まちづくり委員会顧問あいさつ～ 近内・南條顧問

4. 協議事項

（1）石川地区まちづくり計画について

① 石川地区まちづくり計画について

各行政区での取り組み状況を報告～ 別紙参照

② 地域まちづくり計画の進め方について

各行政区からの報告をまとめたものを次回委員会までに各委員が検討することとした。

（2）その他

事務局長より地区まちづくり交付金が町から6万円交付されたことが報告された。

5. 連絡事項

① 次回会議 12月20日（水）午後6時30分～ （会場は、後日通知）

6. 閉 会（熊懷副委員長）

V. 石川町第5次総合計画「石川地区まちづくり委員会」第4回委員会

日 時： 平成19年12月20日（土）午後6時30分～午後8時30分

場 所： 中央公民館 2階 ホール・第3会議室

出 席： 委員25名・事務局 芳賀、三森、小川

1. 開 会（進行：三森）

2. 石川地区まちづくり委員長あいさつ

3. 協議事項

（1）石川地区まちづくり計画について

① 石川地区まちづくり計画案の協議

協 議 内 容	会 議	時 間
地区まちづくり計画素案の検討結果報告	全体会	18：35～18：55
石川地区まちづくり計画案の協議	分科会	18：55～20：00
各分科会での協議結果の報告	全体会	20：05～20：25

② 石川地区まちづくり委員会要望案の検討について

各行政区からの要望について、要望を実現するための地域での具体策及び行動などを行政区役員と各委員で検討し、次回の委員会で報告することとなった。

（2）今後の日定について

平成20年度の委員会活動は、第5回委員会で決定した「石川地区まちづくり計画」の具体的な内容を作成します。

平成21年度以降の委員会活動は、第5次総合計画に基づくまちづくり計画の実践をおこないます（内容は、平成20年度中の委員会で検討します。）。

（3）その他

4. 連絡事項

① 次回会議

日時： 平成20年1月24日（木）午後6時30分～ 町中央公民館

5. 閉 会（熊懷副委員長）

Ⅵ. 石川町第5次総合計画「石川地区まちづくり委員会」第5回委員会

日 時： 平成20年1月24日（水）午後6時30分～午後7時40分

場 所： 中央公民館 2階 ホール

出 席： 委員22名・顧問2名・事務局 芳賀、秋山、小川

1. 開 会（中村副委員長）

2. 石川地区まちづくり委員長あいさつ

3. 協議事項

（1）石川地区まちづくり計画について

① 石川地区まちづくり計画の決定について

地区まちづくり計画を決定した。

② 石川地区まちづくり委員会要望の決定について

追加要望4件を含めて決定した。

③ 石川地区まちづくり計画の提出について

2月上旬に町へ提出を決定した。

④ 石川地区まちづくり委員会報告書の提出について

2月上旬に町へ提出を決定した。

（2）今後の日程

① 委員長・副委員長・事務局会議

1月31日（木）午後1時～ 町役場第二会議室

② 石川地区まちづくり計画等の提出

2月4日（月）午後1時30分 町役場町長室

（3）その他

4. 連絡事項

5. 閉 会（熊懷副委員長）